

一般社団法人 全日本建設技術協会

会長 大石久和

印省略

#### 第644回建設技術講習会

#### (工事積算(土木・建築)の動向と工事施工における合理化、安全対策)の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

本講習会では、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、現場の生産性を高め、働き方改革を進めるためのi-Constructionの取り組み、AIやロボットなど新技術を活用した公共事業、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向と工事施工における合理化と安全対策など、建設事業の実施にあたって特に重要な課題を取り上げることとしております。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

このたびの第644回建設技術講習会では、品確法の改正に基づく価格設定の最新事情や今後の動向、土木工事積算基準や土木工事標準歩掛の最近の動向と適用上の留意点など、会計検査にみる設計、積算、施工における留意点、公共建築工事における工事積算基準と最近の動向、i-Constructionの推進による技術基準の新設、積算基準の改定、ヒューマンエラーの原因とその対策について学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会長 大石 久和  
印省略

## 第644回建設技術講習会開催について (工事積算(土木・建築)の動向と工事施工における合理化、安全対策)

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、平成30年9月12日(水)～14日(金)、仙台市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、品確法の改正に基づく価格設定の最新事情や今後の動向、土木工事積算基準や土木工事標準歩掛の最近の動向と適用上の留意点など、会計検査にみる設計、積算、施工における留意点、公共建築工事における工事積算基準と最近の動向、i-Constructionの推進による技術基準の新設、積算基準の改定、ヒューマンエラーの原因とその対策について学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は宮城県(予定)・仙台市の共催、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,400円	13,400円	13,400円	13,400円
宮城県内の国・県・政令市に勤務	13,400円	2,000円	2,000円*	—
宮城県内の市町村に勤務	2,000円	0円	—	—
東北地区連合会管内の市町村に勤務	18,400円	2,000円	—	—
30歳未満	18,400円	2,000円	—	—
学生	0円	—	—	—

\*特別会員は、開催県内勤務または在住の者

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※聴講のみの参加は可能です。 ※昼食の斡旋はありません。

※割引価格(2,000円)で参加の場合、取り消しはできません。

※平成30年度より「地区連割」を実施しています。

③現場研修料：7,700円〔うち昼食代1,200円〕 ※現場研修のみの参加はできません。

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。  
※会場でのお支払い等をご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: [kensyu@zenken.com](mailto:kensyu@zenken.com)  
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F  
TEL: 03-3585-4546 FAX: 03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142  
口座名義：シャ) ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ  
※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数「644」をつけ加えて下さい。  
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成30年8月24日(金) 必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成30年8月31日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成30年9月7日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は「全建CPD(継続教育)制度」及び「CPDS」の認定講習会です。

【聴講/現場】全建：8単位/3.25単位、CPDS：10ユニット/3ユニット

講習会情報については全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

## 第644回建設技術講習会日程

(工事積算(土木・建築)の動向と工事施工における合理化、安全対策)

～今後の土木工事、建築工事における基準の改正等、積算の動向と施工管理における効率化、安全管理に関する具体的な取り組みについて学ぶ～

- ・品確法の改正に基づく価格設定の最新事情や今後の動向について
- ・土木工事積算基準や土木工事標準歩掛の最近の動向と適用上の留意点などについて
- ・会計検査にみる設計、積算、施工における留意点について
- ・公共建築工事における工事積算基準と最近の動向について
- ・i-Constructionの推進による技術基準の新設、積算基準の改定について
- ・ヒューマンエラーの原因とその対策について

会場 …… 日立システムズホール仙台 (仙台市青年文化センター) (シアターホール)  
〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 TEL022-276-2110(代)

(1日目) 開場11:40		平成30年9月12日(水)		(敬称略)
12:40 } 13:00	あいさつ	宮城県知事 仙台市長 (一社)全日本建設技術協会 常務理事	村井嘉浩 郡和子 秋山幸男	
13:00 } 14:00	建設マネジメントの最新事情について	国土交通省大臣官房技術調査課 建設システム管理企画室 室長	常山修治	
14:10 } 15:10	公共工事と会計検査 ～設計、積算、施工における留意点～	(一財)経済調査会 技術顧問・参与 (元会計検査院農林水産検査第4課長)	芳賀昭彦	
15:20 } 16:20	建設生産システムの生産性向上 ～i-Constructionの活用～	国土交通省大臣官房技術調査課 事業評価・保全企画官	辛嶋亨	
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (18:00～19:30(予定))		東北農場バル 1号店 TEL050-5287-3571 (吉野家のビル 地下1階)		
(2日目) 開場 9:00		9月13日(木)		(敬称略)
9:40 } 10:40	公共建築工事の円滑な施工確保対策について	国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 営繕積算企画調整室 営繕積算高度化対策官	たに はな 谿 花 範 泰	
10:50 } 11:50	ヒューマンエラーの原因と対策	常磐大学人間科学部心理学科 教授	申 紅 仙	
13:00 } 13:30	【地域事業の紹介①】 石巻地区かわまちづくりについて ～地域の特色を生かした整備～	国土交通省東北地方整備局 北上川下流河川事務所調査課 課長	齊 藤 勝 博	
13:30 } 14:00	【地域事業の紹介②】 州崎地先海岸災害復旧事業について ～東北地方太平洋沖地震を踏まえた 地震・津波対策として整備する海岸堤防～	宮城県仙台土木事務所河川部河川砂防第三班 技術主幹	松 村 心	
14:10 } 15:10	土木工事標準歩掛の最近の動向と 適用上の留意点について	国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 施工安全企画室 課長補佐	矢 野 公 久	
15:20 } 16:20	建設工事における事故と安全対策について	国土交通省大臣官房技術調査課 課長補佐	川 尻 竜 也	
16:20 }	閉会のあいさつ	宮城県建設技術協会長 (宮城県仙台土木事務所 所長)	後 藤 隆 一	
(3日目) 集合 8:00～		9月14日(金) 【現場研修】		

### JR仙台駅東口(8:30) 出発

- 石巻旧北上川河口部河川復旧・復興事業、石巻地区かわまちづくり、内海橋災害復旧事業、石巻南浜津波復興祈念公園(仮称)(下車説明)
- 州崎地先海岸災害復旧事業(下車説明) → 昼食(松島町内)
- 仙台市東部復興道路整備事業(かさ上げ道路)(下車説明) → JR仙台駅(16:00)着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。

※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。



1. 石巻市震災復興事業

①石巻旧北上川河口部河川復旧・復興事業

- ・平成23年3月11日に発生した東日本大震災の大津波により北上川及び旧北上川の堤防や水門などの河川管理施設に甚大な被害が発生。
- ・河川堤防の整備については、段階的安全性を向上、地域の復興まちづくりと整合を図る、洪水、高潮、津波（施設画面上の津波）に対応した河川堤防を整備し、平成32年度に完成予定。
- ・築堤工事13箇所のうち、8箇所にてICT活用工事を実施し効率化を図っている。



②石巻地区かわまちづくり

- ・石巻市では「石巻震災復興基本計画」及び「水辺の緑のプロムナード計画」において、堤防整備と併せてプロムナードを整備し、水辺と親しむことができる空間づくりを目指している。
- ・本事業は、震災からの復旧・復興の堤防整備や土地区画整理と併せ、国土交通省が親水護岸や管理用通路などを整備、石巻市が拠点施設の整備や休憩施設等を整備。
- ・災害に強く地域住民が安全に生活できる居住環境を確保した上で、市民や観光が賑わい集い交流できる水辺空間を創出し、地域の活性化を推進。



③一般国道398号内海橋災害復旧事業

- ・東日本大震災に伴う津波により被災した、国道398号の一部、内海橋を「新内海橋」として災害復旧事業において掛け替え。
- ・新内海橋は、現橋より上流側に位置し、延長202m、車道、歩道を含めた道路幅は14.5m。
- ・架設箇所付近であらかじめ地上で組立てた橋桁の先端に手延べ機や架設桁等の機材を組立て後、送出して掛け渡す、送出し工法を採用。
- ・平成32年に供用予定。



④石巻南浜津波復興祈念公園（仮称）

- ・石巻市南浜・門脇地区は、東日本大震災の津波と火災の延焼により約400名もの方々が犠牲になった場所。
- ・防災集団移転促進事業により住民が移転し、跡地は震災復興のシンボルとなる公園として復興計画に位置づけ。
- ・県営・市営公園として整備することとし、県営公園の中心部に国営追悼・祈念施設を国が整備。
- ・復興記念公園は、東日本大震災により犠牲となったすべての生命への追悼と鎮魂の思いとともに、「まちと震災の記憶を伝え」「生命のいとなみの杜をつくり」「人の絆をつむぐ」を基本理念として定めた。
- ・デザインは、市街化される前の風景である湿地や樹林地を復元。



## 2. 州崎地先海岸災害復旧事業

- 東日本大震災の大津波が直撃した同地区は、既設堤防や周辺道路が激しく損傷し、背後地では地盤沈下が生じた。
- 復旧する海岸堤防高は、津波堤防高（発生頻度が数十年から百数十年に一度程度発生する設計津波と高潮堤防高（高潮対策に必要な堤防高さ（余裕高1.0mを含む））を比較して高い方を採用し、州崎地先海岸の堤防高はT.P. +7.2mで高潮堤防高により決定（※既設堤防高：T.P. +4.0m～T.P. +6.2m）。
- 災害復旧事業は、上述の堤防高さで、復旧延長が約2.9km、このうち2.3km区間は堤防背後の海岸線を通る県道奥松島・松島公園線（復興道路事業で計画高はT.P. +6.2m）と一体的に整備。
- 堤防と共に背後道路を嵩上げすることで、道路から海が見える構造にする景観上の対策を実施。
- 堤防形式は緩傾斜式で、仮に津波が堤防天端を超えた場合でも施設が破壊・倒壊するまでの時間を少しでも長くするといった「減災効果」を目指した構造（“粘り強い構造”）とした。
- 当該箇所が特別名勝「松島」の指定区域内にあることから、災害復旧工事にあたっては所管する文化庁と協議し、特に海側法面に設置する被覆ブロックについては表面処理（擬石ブロックの設置）を行うなど景観に配慮した構造とした。

..... 東松島市野蒜字洲崎地先



## 3. 仙台市東部復興道路整備事業（かさ上げ道路）

..... 仙台市宮城野区～若林区

- 津波により甚大な被害を受けた東部地域の再生に向けて、物理的な「多重防御」「避難」のための施設整備等の総合的な対策を実施。
- かさ上げ道路の整備として、多重防御の要として、道路をかさ上げして堤防機能を付加。
- 避難道路の整備として、東部地域を東西に結ぶ3本の骨格道路について、人や車が円滑に避難できるよう拡幅整備を実施。
- 避難経路（既存の市道等）の整備として、主に集落の方々が、津波避難施設等へ円滑に避難できるように、既存市道等の一部改良を実施。
- 嵩上げ道路事業は、全体延長10.2km、道路幅員7～9m、盛土の高さ約6m（T.P. +7.0m）で整備を実施。





## 第644回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には仙台市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328  
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄  
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。  
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

### 斡旋する宿舎名、宿泊料

平成30年9月11日(火), 12日(水), 13日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ホテルフォーリッジ仙台 仙台市青葉区中央4-7-1 TEL022-221-3939	シングル	40名	11・12日 8,000円 13日 9,000円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

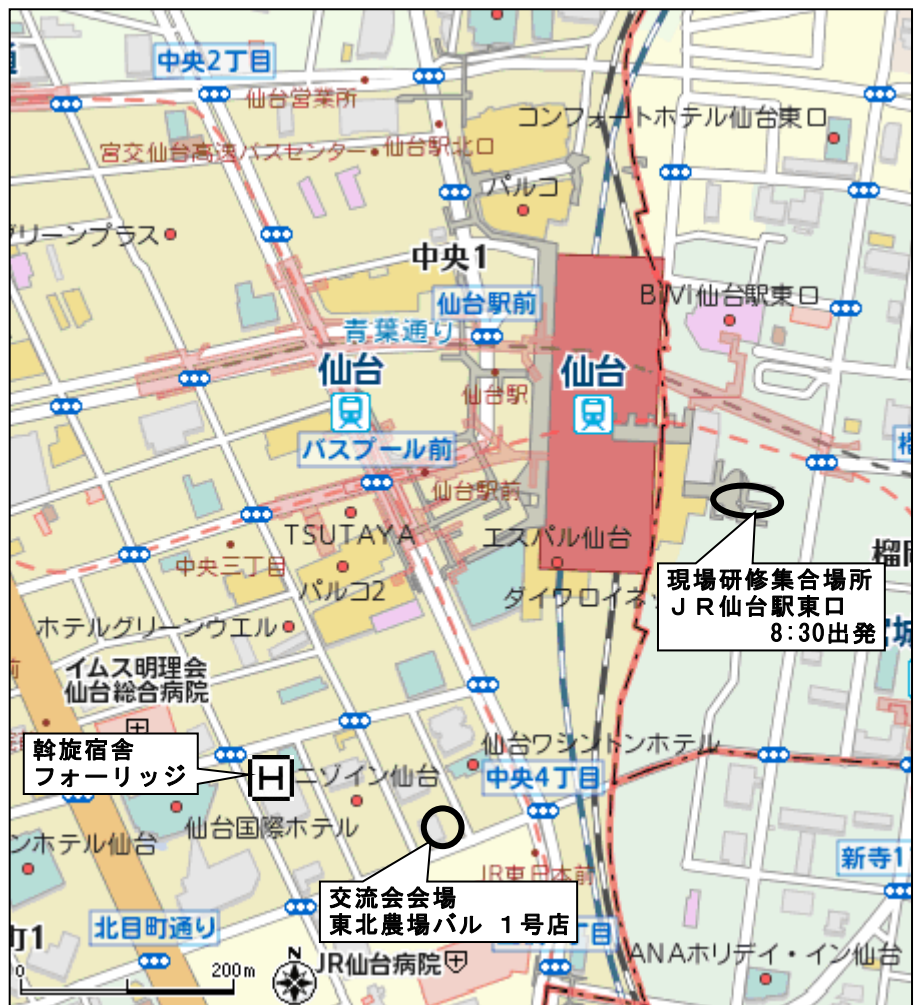
### 案内図

仙台駅(交流会会場)周辺

広域図



旭ヶ丘駅(講習会会場)周辺



## 第644回建設技術講習会に参加の皆様へ！ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

**日時**：平成30年9月12日(水) 18:00～19:30(予定)

(第644回建設技術講習会 1日目講義終了後)

**場所**：東北農場バル1号店(吉野家のビルの地下1階)

**会費**：2,000円(講習会受付時に徴収)

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。

※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。

※服装については特に問いません。



### 【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

※講師の都合により変更になる場合があります。

- |   |          |
|---|----------|
| ・国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室 室長             | 常山 修治 講師 |
| ・国土交通省大臣官房技術調査課 事業評価・保全企画官                | 辛嶋 亨 講師  |
| ・国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課営繕積算企画調整室<br>営繕積算高度化対策官 | 谿花 範泰 講師 |
| ・(一財)経済調査会 技術顧問・参与                        | 芳賀 昭彦 講師 |
| ・国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所調査課 課長             | 齋藤 勝博 講師 |



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
  - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
  - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
  - ①講師との交流
  - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当  
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 \_\_\_\_\_  
(特別・賛助会員名、会社名)

第644回建設技術講習会（工事積算(土木・建築)の動向と工事施工における合理化、安全対策）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般(非会員)	会員	正会員 30歳未満			9月 11日	12日	13日
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
<b>聴講料</b> ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元及び地区連管内の市町村) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」 及び開催地区連合会管内の市町村に勤務する「正会員」(賛助会員除く)						現場研修の昼食は不要の申し出はできません※		宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。		
<b>現場研修料</b> 名×7,700円＝ 円										
計						円				

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、割引価格(2,000円)で参加の場合、キャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできませんのでご了承下さい。